

3千トンの堆肥を鹿児島から購入し供給しました。輸送ドライバー不足や、年末年始は、人や生活物資を優先的に輸送することなどの理由により供給が遅れました。皆様には大変ご迷惑をおかけしました。今後は、堆肥のストックヤードについても、行政を含めて検討を進めるとともに堆肥の輸送については、フレコンバッグの使用を検討するなど対応を図って参ります。なお、島内の畜産農家の堆肥受入については、まとまった数量の確保など対応が難しい状況です。

Q さとうきびの基金事業は本年度も実施されるのか。堆肥散布やプラウ、ロータリーのセットとなっているが、堆肥散布だけの単独実施はできないのか。  
A 基金事業については、気象災害の関係などで生産見込み量に対し10%以上の減収が予想される場合に発動されますので、現在のところは未定となっております。また、土層改良事業については、原則として改良資材（フレコン）とのセット申し込みとなります。今後行政とも検討致します。

Q さとうきびの新品種について、なるべく早い段階で配布されるようにお願いしたい。  
また、農薬のプリンスベイトが在庫切れになっていたので、在庫の確保は徹底して頂きたい。  
A さとうきびの新品種「春のおうぎ」については、令和3年に生産者に供給ができるよう増殖しております。また、農薬の在庫切れに関しましては、3月から4月にかけてプリンスベイトの需要が全国的にあつたことから、製造メーカーの在庫がなくなるという状況でした。5月以降は解消されていきます。

Q 金融窓口が混雑しているよう感じられる。窓口職員の増員をお願いしたい。  
A 大変ご迷惑をおかけしております。職安へ求人も行っておりますが、職員不足で増員ができない状態です。対応できない部分については、窓口職員以外の職員でサポートするようにいたします。また、窓口職員の勤続年数が浅く不慣れな部分もあると思っております。職員教育についても取り組んで参ります。

Q 畜産指導課が家畜市場に集約されたが、各地区に対応ができる職員を1名配置して欲しい。  
A 種子島地区の授精業務については、平成31年4月より民間へ移行し、また、人員不足等もあったことから効率的な運用が必要となり、畜産部に各地区の業務を集約したところです。それに伴い、畜産業務の窓口については各地区の営農販売課内に設置し、受付等対応できるように、統一研修も実施しております。なお、専門的、または重要な案件等につきましては、畜産部と連絡等をとりながら対応して参りますので、体制についてご理解をお願いします。

Q さとうきびの収穫量が減収した理由  
A 台風被害となつていますが、気象条件だけが原因で減収しているのか。  
A 台風による影響が大きいと思います。一部圃場の管理不足や、さとうきびの連作となつている圃場が多くなつていることも要因だと考えます。機械刈りの収穫割合が90%以上を超えており、農林8号の品種においてはハーベスタでの株の引き抜きが多く、欠株になつている状況も減収の要因です。今後も適期栽培管理の徹底と、機械化収穫体系に応じた品種の選定、土づくりによる反収向上の指導を図って参ります。

Q さとうきびの新品種について、収穫量はどの程度か。  
A 新キビで1.5倍、株出で2倍程度増収するデータも出ております。

Q 死廃牛の処理価格が急が高くなったのはなぜか。  
A 死亡家畜処理組合利用料金については、4月より県内では値上げされており、種子島家畜衛生処理組合において、相手方と交渉、協議を行った結果、6月1日からの価格変更となりました。ご理解をお願いします。

Q 肥料の自己取りについて、予約注文した全ての肥料を自己取りすることを要件としているのか、一部での対応はできないのか。また、最寄の店舗にどれにいくことはできないのか。  
A 事務の複雑化を防ぐため配送か自己取りのいずれかをお願いしています。最寄の店舗の自己取りにつきましては、部内で検討致しますので、ご理解をお願い致します。

Q 役員報酬の内訳はどのようになっていくのか。役員選任に伴い理事の人数が増となっているが、役員報酬が同額なのはなぜか。  
A 今回の改選から役員定数が1名増員となりますが、諮問機関である役員報酬審議会の答申内容および組合員の経営状況などを考慮し、理事・監事の合計の報酬総額は増員前の前年度と同額となりますので、組合員の皆さまのご理解をお願い致します。

Q 農家経営支援センターはどのような業務で、1年間活動してきて具体的な成果はどのようなものなのか。  
A 生産者に向いて情報提供や意見を望むべく活動を行い、出された要望をJA内部で情報共有を図り、各事業に

Q 前年度は職員が多数退職し、職員の採用が少ないと聞いている。  
A 当組合の大きな課題だと認識しております。理由については様々だと思っておりますが、採用については、進学率が上昇していることや、労働者人口の減少による就職売り手市場になっていることが要因だと考えられます。また、職場風土の問題もあると思っております。職場風土作りにも取り組んでいきたいと考えております。

Q 種子島地区の授精業務については、平成31年4月より民間へ移行し、また、人員不足等もあったことから効率的な運用が必要となり、畜産部に各地区の業務を集約したところです。それに伴い、畜産業務の窓口については各地区の営農販売課内に設置し、受付等対応できるように、統一研修も実施しております。なお、専門的、または重要な案件等につきましては、畜産部と連絡等をとりながら対応して参りますので、体制についてご理解をお願いします。

Q 中種子のブロックリー作付けについて、新規参入ができるのか。  
A 令和元年度については、強化型育苗ハ

Q 肥料の自己取りについて、予約注文した全ての肥料を自己取りすることを要件としているのか、一部での対応はできないのか。また、最寄の店舗にどれにいくことはできないのか。  
A 事務の複雑化を防ぐため配送か自己取りのいずれかをお願いしています。最寄の店舗の自己取りにつきましては、部内で検討致しますので、ご理解をお願い致します。

Q 役員報酬の内訳はどのようになっていくのか。役員選任に伴い理事の人数が増となっているが、役員報酬が同額なのはなぜか。  
A 今回の改選から役員定数が1名増員となりますが、諮問機関である役員報酬審議会の答申内容および組合員の経営状況などを考慮し、理事・監事の合計の報酬総額は増員前の前年度と同額となりますので、組合員の皆さまのご理解をお願い致します。

Q 農家経営支援センターはどのような業務で、1年間活動してきて具体的な成果はどのようなものなのか。  
A 生産者に向いて情報提供や意見を望むべく活動を行い、出された要望をJA内部で情報共有を図り、各事業に

Q さとうきびの新品種について、なるべく早い段階で配布されるようにお願いしたい。  
また、農薬のプリンスベイトが在庫切れになっていたので、在庫の確保は徹底して頂きたい。  
A さとうきびの新品種「春のおうぎ」については、令和3年に生産者に供給ができるよう増殖しております。また、農薬の在庫切れに関しましては、3月から4月にかけてプリンスベイトの需要が全国的にあつたことから、製造メーカーの在庫がなくなるという状況でした。5月以降は解消されていきます。

Q 金融窓口が混雑しているよう感じられる。窓口職員の増員をお願いしたい。  
A 大変ご迷惑をおかけしております。職安へ求人も行っておりますが、職員不足で増員ができない状態です。対応できない部分については、窓口職員以外の職員でサポートするようにいたします。また、窓口職員の勤続年数が浅く不慣れな部分もあると思っております。職員教育についても取り組んで参ります。

Q 畜産指導課が家畜市場に集約されたが、各地区に対応ができる職員を1名配置して欲しい。  
A 種子島地区の授精業務については、平成31年4月より民間へ移行し、また、人員不足等もあったことから効率的な運用が必要となり、畜産部に各地区の業務を集約したところです。それに伴い、畜産業務の窓口については各地区の営農販売課内に設置し、受付等対応できるように、統一研修も実施しております。なお、専門的、または重要な案件等につきましては、畜産部と連絡等をとりながら対応して参りますので、体制についてご理解をお願いします。

Q さとうきびの収穫量が減収した理由  
A 台風被害となつていますが、気象条件だけが原因で減収しているのか。  
A 台風による影響が大きいと思います。一部圃場の管理不足や、さとうきびの連作となつている圃場が多くなつていることも要因だと考えます。機械刈りの収穫割合が90%以上を超えており、農林8号の品種においてはハーベスタでの株の引き抜きが多く、欠株になつている状況も減収の要因です。今後も適期栽培管理の徹底と、機械化収穫体系に応じた品種の選定、土づくりによる反収向上の指導を図って参ります。

Q さとうきびの新品種について、なるべく早い段階で配布されるようにお願いしたい。  
また、農薬のプリンスベイトが在庫切れになっていたので、在庫の確保は徹底して頂きたい。  
A さとうきびの新品種「春のおうぎ」については、令和3年に生産者に供給ができるよう増殖しております。また、農薬の在庫切れに関しましては、3月から4月にかけてプリンスベイトの需要が全国的にあつたことから、製造メーカーの在庫がなくなるという状況でした。5月以降は解消されていきます。



【全体運】 交友関係が一気に広がる気配。趣味や習い事の集まりには意欲的に参加して。人気店で逸品に遭遇することも  
【健康運】 まずまずの安定期。ウォーキングにツキ  
【幸運を呼ぶ食べ物】 栗